

2021年8月20日
(午後2時現在)
美須賀海運株式会社

当社管理船 座礁事故の件 (第4報)

8月11日(水) 八戸港外において、当社がMI-DAS LINE S.A.社(洞雲汽船株式会社の関連会社、以下「船主」)から船舶管理を請け負っております木材チップ専用船 CRIMSON POLARIS(クリムゾン・ポラリス、以下「本船」)が座礁し、船体の分断、油の流出が発生した件で、近隣住民の皆様、漁業関係者の皆様、その他関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますこと、改めて深くお詫び申し上げます。

現在、船主手配による海上及び海岸における油濁の防除作業を継続する一方、更なる油の流出防止を最優先に気象・海象を注視しつつ船体の撤去に向けた各種準備作業を各関係者と協力して進めております。

今回、被害を被っておられる方々へ船主が直接謝罪すると共に現状と見通しをご説明するために、船主説明会を以下の通り行いました。

1. 日時 2021年8月20日(金) 午前9時00分～10時30分
2. 場所 八戸市水産会館(大研修室)
3. 内容 参加された方々へ船主からの謝罪及び本船の現状並びに流出燃料油の清掃状況と見通しのご説明
 - ①船主・船舶管理会社を中心とした本件事故対応の組織体系、事故に至る時系列及び現在の本船概要
 - ②本船(船首部、船尾部)の状態、作業使用船舶、防油作業、燃料油抜き取り体制及び燃料油移送体制、現場海域の海象の状況及び予測、並びに作業完了の見通し予測
 - ③本船からの漂着物(救命艇等)の状況及び回収状況
 - ④流出油の防除手法(気象・海象状況、油膜の厚さに応じた防除手法)、物理的回収(油吸着材)状況、機械的回収(油回収装置)状況、分散処理(油処理剤散布)状況、海岸線調査、海岸清掃(汚染ごみの回収、ビーチクリーナーによる回収、エアレーション作業)状況、状況変化リスクの備え
 - ⑤今後の対応(流出燃料油・流出貨物回収、船体防油、燃料油抜取、船骸撤去)
 - ⑥質疑応答
4. 参加者(案内状送付先)
自治体(青森県、岩手県、及び六ヶ所村から野田村までの沿岸地域市町村)、税関及び警察署など関係機関、同沿岸地域の漁業協同組合、漁業関連企業及び、住民の皆様など約90名。

今後も、船主と共に現状等について適宜ご説明をさせて頂く予定です。

引き続き海上保安庁および関係者と協力し、被害の最小化と早期の事態解決に向けて全力で取り組んでまいります。

以上